

功労賞受賞者

	受賞者	受賞理由
第14回 (2024年)	安宅 光雄 氏	タンパク質結晶成長への磁気科学の導入
第13回 (2023年)	岸尾 光二 氏 (東京大学)	磁気科学の普及を導く超伝導材料研究と磁気科学的手法の材料科学への適用に関する貢献
第12回 (2022年)	西嶋 茂宏 氏 (福井工業大学)	磁場産業の創生を目指した磁気力制御技術の展開
第11回 (2021年)	掛下 知行 氏 (福井工業大学)	マルテンサイト変態基礎科学の確立と強磁場材料科学の創成
第10回 (2020年)	木村 恒久 氏 (福井工業大学)	材料科学における磁場応用及び磁気科学会発足への貢献
第9回 (2019年)	尾関 寿美男 氏 (信州大学)	コロイド物質や界面現象への磁場の影響とそれらにおける新現象の発見
磁気科学25周年 特別功労賞 (2018年)	和田 仁 氏 (東京大学)	磁気科学分野の形成と発展への貢献
第8回 (2018年)	本河 光博 氏 (東北大学)	磁気科学黎明期における学術的貢献
第7回 (2017年)	渡邊 和雄 氏 (東北大学)	無冷媒超電導マグネットの開発と磁気科学への貢献
	Jan Kees Maan 氏 (Radboud University)	強磁場施設の運営とソフトマテリアルへの応用
第6回 (2016年)	渡會 仁 氏 (大阪大学)	磁気分析科学的方法論の開拓とその展開
第5回 (2015年)	上野 照剛氏 (東京大学)	生体磁気科学分野の創成および学術的貢献
第4回 (2014年)	浅井 滋生氏 (名古屋大学)	材料電磁プロセッシングの創始とその展開

第3回 (2013年)	谷本 能文氏 (広島大学)	磁場および磁気重力制御場が及ぼす 反応への影響 —光化学反応から物理化学 現象,生物現象にいたるまで—
	渡辺 恒雄氏 (首都大学東京)	環境修復技術としての磁気分離研究 の貢献
第2回 (2012年)	Robert F. Tournier 氏 (Universite Joseph Fourier)	磁気科学研究分野の創成および学術 的貢献
	山口 益弘氏 (横浜国立大学)	磁気科学研究分野の創成および学術 的貢献
第1回 (2011年)	青柿 良一氏 (職業能力開発総合大学校)	磁気科学会の創立への貢献および学 術的貢献